

友だちとの関わりの中で、少しずつ相手の気持ちに
目を向けて、やりとりしてみようとする。
友だち同士で気持ちが通い合う喜びを感じていく。

10・11・12
月



園長：意外性やズレもわかるようになり、それが楽しいというユーモアの感覚も育ってきました。



わかちゃんが、お口に手を当てて「あま〜い！」と言うと、吉田先生もアナウンサーみたい！とマネっ子して「あま〜い」
他のお友達にも広がって、「あま〜い」がブームになりました^^



友だちや先生と同じことをやってみる、真似っこしあう、ということが好きな子どもたち。
お昼ごはんの時間も、こんな風にいろんなやりとりがあって、「共食」の良さを感じます。



オレンジの皮、いっしょだね。
かんぱーい！



12月頃になると、おままごとブームがきました。
夕方時間、1時間以上もの間ちやぶ台を囲んでいる日もありました。みんなイメージを持って、一緒に「いただきます」するなど、かわいいです。

まだ、自分のやりたいことや使いたいものをめぐってケンカもあるけれど、大人の力も借りつつ、ちょっとずつ同じイメージを持って遊ぶような姿も出てきています。

園長：共通のイメージを共有できる仲間も増えてきて、2歳児のごっこ遊びに似てきましたね。



はるきくんがしょうたくんの電車遊びをみて、足を広げた！
と思ったらなんとトンネル役として参加していました。お互いに楽しめる方法を思い出してやってみる、一緒にイメージを共有して楽しむ姿がよくみられるようになってきました。



トンネルごっこもよくやっていましたね。最初は大人の脚の間をくぐっていたけれど、いつのまにか、子ども同士でも楽しむように…。

